

原発問題

「脱ノンポリ」行動の時

「3・11」は多くの人々の生き方を変えた。原発の安全神話崩壊は大きな要因の一つだ。東日本大震災後初の総選挙。有権者は原発を含めた各党のエネルギー政策を注視している。

【木村健二】

11年3月11日、さい 西宮市にある夫の実家
たま市緑区の学校職 に向かった。当時、長
員、向井絵里さん(44) 女は高校1年、長男が
は自宅で震度5強の揺 小学5年。放射線によ
れに襲われた。家族4 人の被ばくを心配し、2
人は全員無事だった。 人の転校を決めた。
しかし、夫(43)がイン 向井さんは同年5月
ターネットなどを通じ ころ、さいたま市での
て集めた東京電力福島 生活を再開したが、原
第1原発事故の情報に 発事故をきっかけに国
危機感を募らせた。原 のあり方への疑問はか
発で相次ぐ水素爆発。 りを感じていた。それ
同15日夕、東海道新幹 まででは原発への嫌悪感
線に飛び乗って兵庫県 こそあったものの、支

デモ参加、署名集めで街頭に



原発の稼働の可否を決める「国民投票」の実施を求める市民グループの会合に参加した向井絵里さん(左から5人目)―さいたま市中央区で

持政党のない「ノンポリ」を自任してきた。昨秋、東京都内であった原発に反対するデモの列に初めて加わった。「とにかく何かしなくちゃ」という気持ちで体を動かした。デモだけではない。もう少し踏み込んで、もう少し踏み込んで、分と同じような仲間

自分ができることほな
いかと自問し、インタ
ーネットで、原発の稼
働の可否を決める「国
民投票」の実施を求め
る市民グループを見つ
けた。賛同人に登録し、
県内の賛同人が集まる
初会合に参加した。自

◆小選挙区に候補を立てた7政党の主な公約◆

- <民主党>
・2030年代に原発稼働ゼロを可能とするよう、あらゆる政策資源を投入。電力の安定確保など、さまざまな課題を乗り越え、着実に目標へ近づいて、「原発ゼロ」を必ず実現します。
- <自民党>
・中長期的エネルギー政策として、将来の国民生活に責任の持てるエネルギー戦略の確立に向け、判断の先送りは避けつつ、遅くとも10年以内には将来にわたって持続可能な「電源構成のベストミックス」を確立します。
- <日本未来の党>
・「原発稼働ゼロ」という現実において、安全や雇用・経済対策などの直面する課題に責任ある対応をし、全ての原発が確実に廃炉となる「卒原発」への道のりを定めます。
- <日本維新の会>
・脱原発依存メカニズム（安全規制、使用済み燃料の総量規制・乾式中間貯蔵、損害賠償のルール化）。
- <共産党>
・「即時原発ゼロ」の実現を提案します。
- <みんなの党>
・電力自由化による原発ゼロ。2020年代の原発ゼロを明確に進める。
- <社民党>
・原発稼働はただちにゼロ、脱原発社会に向けて着実にすすめます。

出会えたことに勇気づけられ、活動にのめり込んだ。署名集めのために街頭にも立つ。

◇ ◇ ◇

「福島県から避難を余儀なくされており、埼玉県のみなさんにはご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます」。衆院選の公示を翌日に控えた3日、佐藤雄平・福島県知事が県庁に上田清司知事を訪ね、復興への支援に謝意を表した。県内へ避難を続ける東日本大震災の被災者4163人のうち、94.6%に当たる3939人を福島県から占める（6日現在）。

◇ ◇ ◇

国民投票と選挙は違う。だが、原発の行方が重要なテーマであることに変わりはない。「政治を知れば知るほど嫌いになったけれど、お任せにはできません。いままでに経験のないほど一票が重くのしかかっている」。より主体的に選挙に関わろうと、向井さんは投票に臨む。